

「日本の空港と空旅のミライをデザインする」プロジェクト

広域型産学官連携プロジェクト

日本の空港と空旅のミライをデザインする

羽田未来総合研究所をハブとして全国のデザイン系大学の研究室と地域の空港が繋がります。空港における様々なデザインを担う企業デザインセクションや地域観光をクリエイイトするDMOの方々と共に、日本の空港と空旅の未来をデザインする研究プロジェクトが始動中です。

広域型産学官連携プロジェクト

日本の空港と空旅のミライをデザインする

羽田未来総合研究所をハブとして全国のデザイン系大学の研究室と地域の空港が繋がります。空港における様々なデザインを担う企業デザインセクションや地域観光をクリエイイトするDMOの方々と共に、日本の空港と空旅の未来をデザインする研究プロジェクトが始まります。

2019 for 202x

2019年8月スタート

2019年8月26日開催のサマーキャンプ2019でのエクスカーション・シンポジウム・ワークショップもふまけ全国のデザイン系大学の研究室が日本の空港と空旅の未来についての研究に取り組みます。そして、2020年3月のスプリングキャンプでは研究成果のプレゼンテーションを実施致します。

札幌市立大学デザイン学部・東北芸術工科大学デザイン工学部
近畿大学デザイン工学部・徳島大学造形学部
富山大学芸術文化学部・新潟大学工学部
株式会社 羽田未来総合研究所
日本電気株式会社 クリエイティブデザインセンター
一般社団法人 富山県観光振興公社
© 2019年8月時点 (プロジェクト参加機関は随時変更中)

お問い合わせ先:
富山大学芸術文化学部 産学連携課 (atta@tda.f.uoyama.ac.jp) もしくは 日本研究室 (okamoto@tda.f.uoyama.ac.jp)
羽田未来総合研究所 アート＆クリエイティブデザインセンター 企画課 石原 (hoshiguro@fhi.co.com) もしくは 観光創生企画課 志保 (taket@fhi.co.com)

◎広域での産学官連携の可能性

…デザインは社会への実装が前提であるためデザイン教育において産学官連携が重視されてきました。

今、地方創生や地域活性化を考える上では特定地域の活動だけではなく広域での連携に期待が集まっています。これからの日本を考える。これからのデザインを考える。その様な文脈において、産学官連携も広域での可能性を探るタイミングに来ているのではないかと考えます。

◎日本の空港と空旅の可能性

…日本は島国なので、国内外をつなぐ拠点は空港です。エアラインによる地域へのアクセス、エアラインによる地域間、国際間の移動などを含め、地域における空港や空旅の新しい価値を探ることで、地域の空港が地域活性化の拠点と成り得るのではないのでしょうか。

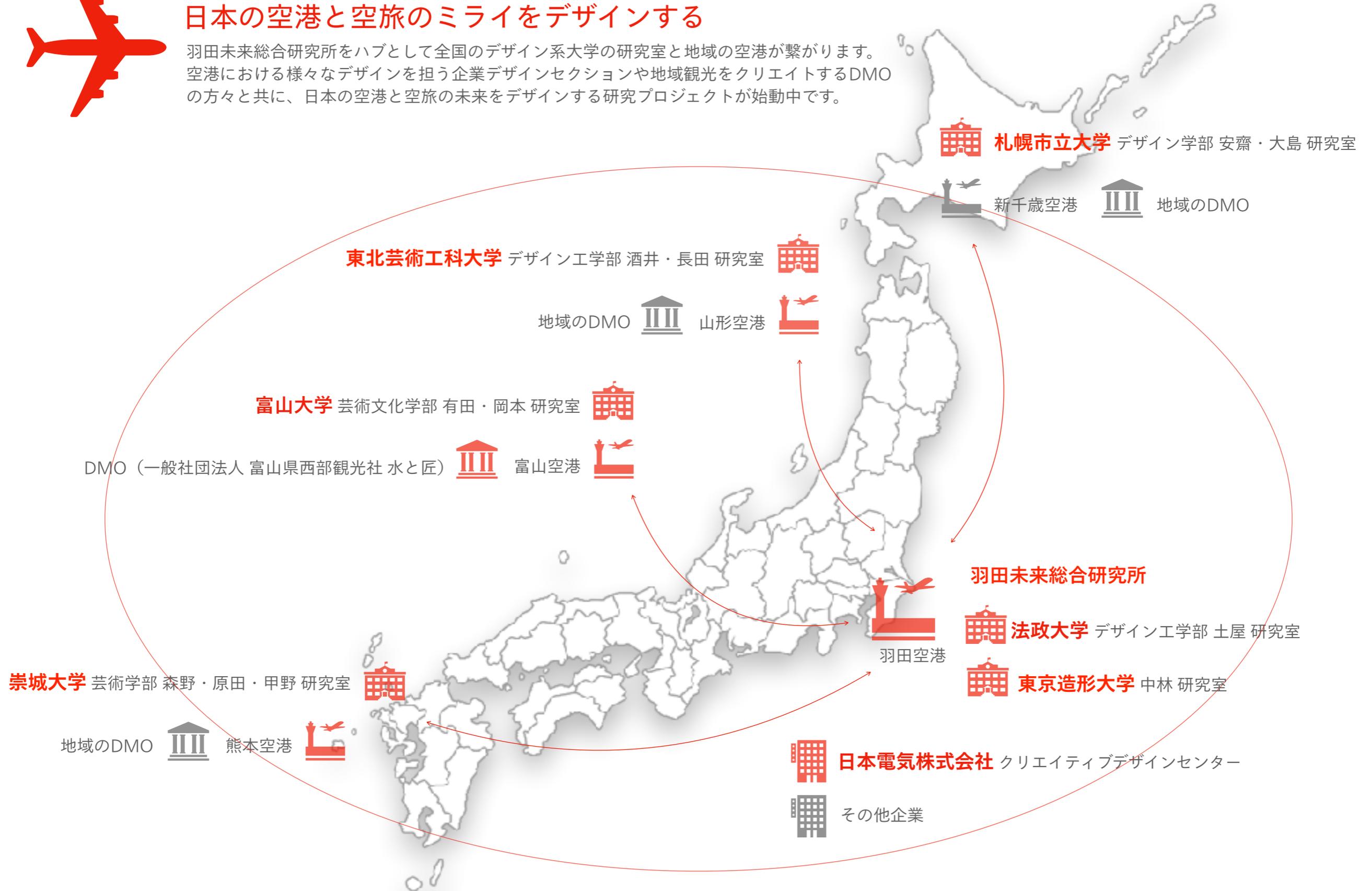




広域型産学官連携プロジェクト

日本の空港と空旅のミライをデザインする

羽田未来総合研究所をハブとして全国のデザイン系大学の研究室と地域の空港が繋がります。空港における様々なデザインを担う企業デザインセクションや地域観光をクリエイトするDMOの方々と共に、日本の空港と空旅の未来をデザインする研究プロジェクトが始動中です。





広域型産学官連携プロジェクト

日本の空港と空旅のミライをデザインする

羽田未来総合研究所をハブとして全国のデザイン系大学の研究室と地域の空港が繋がります。空港における様々なデザインを担う企業デザインセクションや地域観光をクリエイトするDMOの方々と共に、日本の空港と空旅の未来をデザインする研究プロジェクトが始動中です。



2019年

2020年

Summer Camp 2019



●サマーキャンプ2019 (8月26日)

- ・エクスカージョン (空港サーベイ)
- ・シンポジウム (基調講演とパネルディスカッション)
- ・ワークショップ (研究テーマを掘り下げるプレスト)
- ・懇親会



●学会報告@芸術工学会 in 札幌市立大学 (10月26日)

※広域型産学官連携の可能性をテーマに
本プロジェクトのサマ리를報告



●進捗報告会@法政大学 (12月14日)

※法政大学と東京造形大学の学生を中心とした
進捗報告会を開催、他地域の研究室や企業も
参加し研究アプローチの共有を行う場とする

Spring Camp 2020



●スプリングキャンプ2020 (3月9日 or 10日)

- ・プレゼンテーション
(本プロジェクトの主旨に関連した卒業制作や自主制作、課題制作の発表空港関係者、地域のDMO、エアライン関係者を招き、優秀制作を選出頂くとともに研究を深めたい制作に対する研究支援を検討頂く場とする予定)
- ・空港デザインセミナー (TBD)
- ・地域の空港のサーベイ報告

Extra Camp



●分科会@熊本空港 (2月1-2日)

※分科会的なワークショップを開催

Summer Camp 2020



●サマーキャンプ2020 (8月下旬～9月上旬)

- ・エキシビション
(Spring Camp 2020 プレゼンテーションでの優秀制作および企業支援制作のエキシビション & トークショー)
- ・空港デザインセミナー (TBD)
- ・羽田空港サーベイ (東京オリンピックで賑わう空港をサーベイする)
- ・ミライへのブレインストーミング
(中期での研究中間報告を踏まえた議論)



※サマーキャンプ2019を契機とした学生の研究制作活動
(4年次生の卒業制作や3年次生の自主制作もしくは各大学の授業における課題制作)
※入口はサービスデザイン的な切り口であるが、アウトプットはグラフィック、プロダクト、インターフェース、コミュニケーションなどそれぞれの大学(研究室)の特徴を活かす

※各大学の研究室で地域の空港およびDMOとの連携を探ると共にサーベイを実施

※大学連合と羽田未来総合研究所のアライアンスでの研究活動

※優秀制作についてのエキシビションに向けての準備
※企業支援を獲得した制作のブラッシュアップ

エキシビションの開催@羽田空港

Phase 2

本プロジェクトの特性として日本における地域間連携だけではなく周辺諸国のデザイン系大学および空港との連携という可能性ががあります。Phase2では本プロジェクトの活動をベースに更なる発展を検討

